

～今、肝炎が熱いんです！～

下関市保健部キャラクター
こころん



皆さん、こんにちは。私は、下関市保健部でみんなが「元気」になるようにがんばっちゃう「こころん」だよ。え～っ？なに、なに？知らんほお～。まだまだ全国区にはなっちゃうのよね～(涙)。

じゃあ、ちょっと自己紹介させて下さいね。生まれたのは平成 25 年 3 月。当時、下関市では、「いのちを守る」をコンセプトに、それぞれのいのちが織りなす、ふれあいと温かみのあるまち、心地よい「いのちのハーモニー」を奏でられる社会をめざし、「いのち」を考え、「生きる力」を育む体制づくりに取り組んでたの。その取り組みの中で、市内の大学生さんと保健部のかわいい若い職員の方々(おじ様もいたのかなあ!?)が、春に出会い、一緒になって夏・秋・冬と、いろいろ話し合ったり、考えたりして、みんなの愛に包まれてやっと生まれたほよ。

私の体のハートは「いのち」と市民の皆さんの愛、青い波は下関をとり囲む海、緑は下関の豊かな大地なんよ。そして、「こころん」って名前は、「心と音」、いのちのハーモニーを奏でる社会をイメージしてるの。

あっ！自分のことばかり話しちゃった。ごめんなさい。

実は、今日は、下関市で起きた大変な!?出来事を皆さんに聞いてほしいんです。今年の夏。厚生労働省から一通のメールが保健部に届いたの……。

「 演習 あなたの街の首長さんが言いました……

『 何が何でも 肝炎検査の実施数を増やすのだ! 』さて、どうしましょう？」

何々、いたずら？誰が送ってきたの？保健部のみんなは大慌て!!!

そう。実は、私が生まれた時の関係者の 1 人が厚生労働省肝炎対策室長になり、このメールを送ってきたんよ。さあ、どうしましょう？

みんなは頭を抱えてダンマリ……。その時、保健部理事に電話が……。

「はいはい。わかりました。」 ガチャ！何？何なの？

理事が一言、「厚生労働省事業『知って、肝炎プロジェクト』として、『スペシャルサポーター』の地域訪問が下関市に来るらしい。」何？何？大急ぎで厚生労働省のHPを確認したら、サポーターにAKB48やEXILEの名前も、えっ！えっ！EXILEが来るの？と女性職員。もしかしてAKB？と男性職員。

最終的には下関市出身の演歌歌手山本譲二氏が表敬訪問して下さることになり、保健部職員全員大喜び！市長もぶち喜んでたよ。懐かしい前部長も一緒に来る予定だったけど、残念ながら来れなかったんよ（保健部の職員は何故かほっとしてたなあ(笑)）。譲二さんには、地元テレビ局に出演された際も、しっかり肝炎プロジェクトの紹介をしてもらったの。他にも、同テレビ局の協力によるインフォーマーシャル放送(CM)、地元コミュニティラジオでのPR、地域の保健推進委員を通じた肝炎検査の草の根周知活動などなど、様々な手をつくしてプロジェクトをPRしたよ。こころんも一緒に頑張ったんよ。

その頃、某局の人気生活情報番組「ためしてガッテン」にも取り上げられて、26年度下半期の肝炎検査件数は急増！申し込み電話が殺到して、ちょ～ビックリ！（笑）。

やはり、メディアの力はすごいね。こころんも負けずにPRしよう！今年度は、市内の路線バスに肝炎対策のラッピングしちゃったり、がん検診といっしょに肝炎検査が受けられるようにいろいろやってみる予定だよ。

私こころんを含む保健部職員の気持ちは、市民の皆さんに肝炎について「正しく知ってもらいたい。」ってことだけなんよ。肝炎は、自覚症状がなく、知らない間に肝硬変や肝がんに進行してしまう恐ろしい病気！全国で1人でも多くの人に「気づいて」もらえるように、こころんも頑張るから。みんなもお願いね！

最後に・・・どこかで「こころん」に会ったら声かけてね。よろしく。
『知って、こころん』

<http://www.city.shimonoseki.lg.jp/www/contents/1369130800672/index.html>